

第1次富谷市地方創生総合戦略 効果・検証

基本目標-1 企業誘致の実現による新たな雇用の場の創出

基本目標-2 スイーツ等による「とみやシティブランド」の確立

基本目標-3 未来を担う子どもたちを育てる環境のさらなる充実

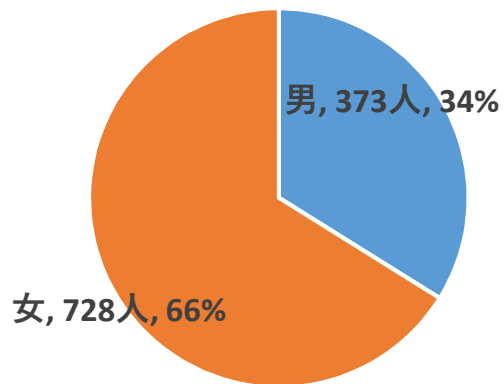
基本目標-4 生活圏を踏まえた暮らしやすさの一層の向上

		H28	H29	H30	R1	R2
数値目標	① 新規雇用者1,100人以上	708人	110人 (累計 818人)	100人 (累計 918人)	67人 (累計 985人)	116人 (累計 1,101人)
	② 新規雇用者1,100人以上のうち女性雇用率50%以上	68.8%	66.5%	66.0%	67.0%	66.1%
	③ 富谷市まちづくり産業交流プラザを拠点とした起業・創業の実現19件以上	—	—	4件	7件 (累計 11件)	12件 (累計 23件)
重要業績 評価指標 (KPI)	① 企業の誘致・操業9件以上	4社	2社 (累計 6社)	1社 (累計 7社)	1社 (累計 8社)	0社 (累計 8社)
	② しんまち地区での新規店舗開設数5件以上	—	—	0件	0件	6件
	③ 富谷市まちづくり産業交流プラザ来館者数32,000人以上	—	—	29,374人	32,068人	11,628人

【企業の誘致・操業、新規雇用】

●新規雇用者数

(数値目標① 新規雇用者R2累計1,101人)
(数値目標② 女性雇用率66.1%)



●企業の誘致・操業 (KPI① R2累計8社)

平成28年度	(1)みやぎ生活協同組合コープ東北サンネット事業組合 (2)コストコホールセールジャパン株式会社 (3)スズキ株式会社 (4)(株)喜助
平成29年度	(1)(株)ガイエンス (2)(公財)電磁材料研究所
平成30年度	(1)日本ファインセラミックス株式会社
令和元年度	(1)スギムラ化学工業株式会社



→コープ東北サンネット事業
連合専用物流施設プロロックス
パーク富谷

↓コストコホールセール富谷倉庫店



↓スズキ部品センター仙台



【富谷市まちづくり産業交流プラザ整備・運営事業】（国の地方創生推進交付金、拠点整備交付金を活用）

●富谷市まちづくり産業交流プラザ来館者数（KPI③ R2実績11,628人）

平成30年7月、旧富谷町役場庁舎を、市内で起業・創業を目指す若者・女性・シルバー世代など多様な世代が集う起業支援等の拠点施設「**富谷市まちづくり産業交流プラザ（通称：とみぷら）**」として整備しました。

開館後は、しんまち地区を象徴するシンボルとして、起業・創業を目指す方の来館以外に、「富谷宿 街道まつり」開催時や、富谷市民俗ギャラリーを訪れる方など、多くの方に来館いただいております。



●起業・創業支援（数値目標③ R2累計23件、KPI② R2累計6件）

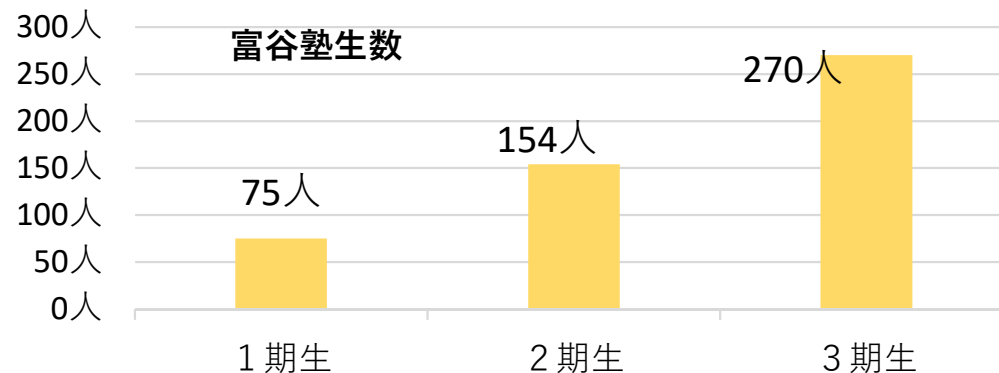
新しいスタイルの起業塾「**富谷塾**」

【目的】

- 市民の起業マインドを醸成し、以下の2項目を実現する。
- 1) 市民生活をより良くするための潜在課題や地域ニーズを発掘
- 2) 市民の潜在起業ニーズを引き出し、新たなビジネスを創出



市民主導による地域課題の解決 = 住みたくなるまち日本一の実現



富谷塾の活動が

「富谷市まちづくり産業交流プラザを拠点とした 起業・創業の実現 23件」

「しんまち地区での新規店舗開設 6件」

につながっています。

→しんまち地区に新たに開所した「富谷宿観光交流ステーション『とみやど』」には、塾生が立ち上げたお店が軒を連ね、多くの方に利用されています。



		H28	H29	H30	R1	R2	
数値目標	①	交流人口 10,000人以上増加 (とみや国際スイーツ博覧会入場者数)	29,650人	36,200人	40,500人	0人 ※1	0人 ※2
重要業績 評価指標 (KPI)	①	とみや国際スイーツ博覧会 (平成28年度より1回開催)	開催	開催	開催	開催中止 ※1	— ※2
	②	新たな特産品開発3品以上	3品	0品 (累計 3品)	0品 (累計 3品)	0品 (累計 3品)	0品 (累計 3品)

※1…令和元年度台風により中止 ※2…令和元年度で事業終了のため

【スイーツのまちとみや創出プロジェクト】 (国の地方創生推進交付金を活用)

スイーツを切り口として、地域特産品を活用した新たな魅力の創造による**交流人口の拡大**、農業振興施策の継続と拡大による**一次産業全体の活性化**という課題に取り組んできました。

●とみや国際スイーツ博覧会の開催 (数値目標①,KPI①⇒R1年度で事業終了)

「とみや国際スイーツ博覧会」の開催により、市の特産品を生かしたスイーツや国内外のスイーツを多くの方に楽しんでいただき、**スイーツによる交流人口の増加を図ることができました。**



●新たな特産品の開発 (KPI② R2累計3品)



ブルーベリーのほかに、**はちみつ、イチジク、シャインマスカット**を新たな市の特産品に加えることができました。

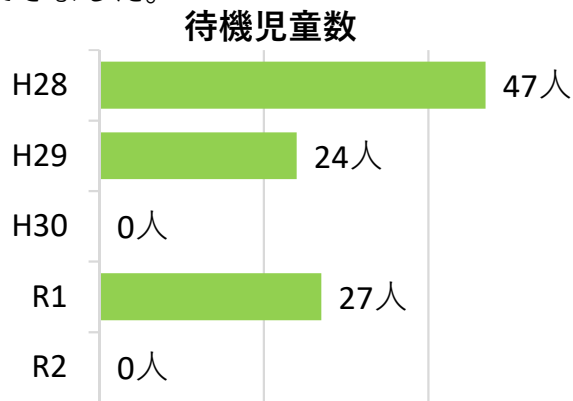
また、市内スイーツ店の協力のもと、本市の特産品を活用した、延べ**80品を超える「とみやスイーツ」**を育成することができました。



		H28	H29	H30	R1	R2	
数値目標	①	子育て世帯500世帯の増加 (基準：H27.3末 6,947世帯)	30世帯減少 (6,917世帯)	101世帯減少 (6,816世帯) (累計 131世帯減少)	123世帯減少 (6,693世帯) (累計 254世帯減少)	146世帯減少 (6,547世帯減少) (累計 400世帯減少)	175世帯減少 (6,372世帯減少) (累計 575世帯減少)
重要業績 評価指標 (KPI)	①	待機児童ゼロの実現 (各年度4月1日時点)	47人	24人	0人	27人	0人
	②	子ども医療費助成の対象年齢を 18歳まで拡大	対象年齢18歳 まで拡大	実施済	実施済	実施済	実施済
	③	全ての市立幼稚園及び小学校の ユネスコスクール登録 1校→2園,13校	1校 (H22達成済)	0校 (累計 1校)	2園,12校 (累計 2園,13校)	全校登録済	全校登録済

●保育環境の充実 (KPI① R2実績0人)

求められる保育需要を正確に捉え、保育士の確保や新たな保育所を整備し、平成30年度・令和2年度（各年度4月1日時点）に**待機児童ゼロを達成**することができました。



年度	開園した保育施設
H28	富ヶ丘菜の花保育園 ぶらむ保育園富谷 富谷ひよこ園
H29	とみや杜の橋こども園
H30	富谷ひよこの里 大清水ぞうさん保育園
R2	ひよこのおうち キッズフィールド大清水園



●子育て環境の充実 (KPI② H28実施済)

乳幼児の健康向上と福祉の増進を図るため、平成27年10月から**対象年齢を18歳の年度末まで拡大**しました。

さらに、令和2年10月からは、**小学校4年生以上の通院分の所得制限を撤廃**し、子どもの適正な医療機会の確保及び子育て家庭の経済的負担の軽減を図っています。



●持続可能な開発のための教育の推進 (KPI③ R1登録済)

ユネスコ検証に示された理念である「持続可能な開発のための教育(ESD)及び平和、異文化理解教育」の推進を図るべく、**市内すべての幼稚園及び小中学校のユネスコスクール登録**を行いました。



		H28	H29	H30	R1	R2
数値目標	① 「今後も暮らしたい」(定住意向)とする住民の割合92%以上	89.4%	89.4% (前年と同)	89.4% (前年と同)	89.4% (前年と同)	88.0% (R2アンケート)
重要業績評価指標 (KPI)	① 市民バス年間利用者数 71,962人→95,000人	75,859人	82,370人 対前年比+6,511人	89,059人 対前年比+6,689人	88,247人 対前年比-812人	74,323人 対前年比-13,924人
	② 高齢者・障がい者交通支援事業の創設 (公共交通バス・地下鉄利用のためのICカード乗車証の導入) 交付対象者への交付率50%	(障)16.3% (高)31.6%	(障)20.3% (高)35.7%	(障)20.8% (高)37.4%	(障)23.2% (高)38.5%	(障)25.0% (高)41.1%
	③ 地域の交流拠点街かどカフェの設立 5地域	3地域	0地域 (累計 3地域)	1地域 (累計 4地域)	0地域 (累計 4地域)	0地域 (累計 4地域)
	④ 地域コミュニティ活動の実施支援 15ヶ所→25ヶ所	22ヶ所	1ヶ所 (累計 23ヶ所)	1ヶ所 (累計 24ヶ所)	0ヶ所 (累計 24ヶ所)	0ヶ所 (累計 23ヶ所)
	⑤ 自主防災組織の設立 23町内会→全町内会	23町内会	5町内会 (累計 28町内会)	8町内会 (累計 36町内会)	2町内会 (累計 38町内会)	0町内会 (累計 38町内会)

●基幹公共交通システムの整備促進 (KPI① R2実績74,323人)

本市の大きな課題となっている公共交通の整備について、社会情勢への対応や総合計画の施策目標となっている「あらゆる立場・世代の方で安全で自由に動けるまちづくり」を目指して、「富谷市都市地域総合交通戦略(基本計画)」を策定。短期・中期・長期、それぞれの取組を設定し、すぐに取り組む事業(短期的取組)として、下記の事業などに取り組みました。

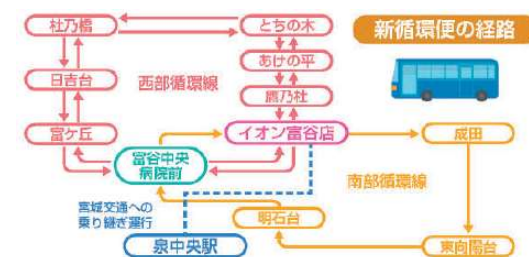
デマンド型交通運行事業を開始

市民バスの代替手段となる新たな交通網の形成を目指し、北部・東部区域を対象とした「**デマンド(予約乗合)型交通**」を導入し、**実証運行を開始しています。**



市民バスの増便(イオン富谷店循環便の新設)

市民バスを1台増やし、6台体制とし、利用者が多い西部循環線とな部循環線に、イオン富谷店を起終点とした新循環便を13便新設しました。これにより、**市民バスと宮城交通バスとの乗継運行などの利便性が大きく向上しました。**



●高齢者・障がい者の外出支援 (KPI② R2実績⇒障がい者:25.0%,高齢者:41.1%)

とみぱす開始

70歳以上の高齢者や障がい者の社会参加及び安心安全な移動を促進するため、市制施行の平成28年10月10日から、**高齢者・障がい者外出支援乗車証「とみぱす」**を開始しました。

サービス開始から年々利用登録者は増加し、多くの方にご利用いただいております。



福祉タクシー利用券助成開始

平成30年10月1日からは、より重い障がいを抱える方や重度の要介護状態の方に対して、福祉タクシー利用料金の一部助成を開始し、日常生活の利便性向上や社会活動の範囲拡大を図っています。

※令和3年4月からは、対象者を拡大

●共に支える地域づくりの推進

- KPI③街かどカフェ設立 R2累計4カ所
- KPI④地域コミュニティ活動実施支援 R2累計23ヶ所
- KPI⑤自主防災組織の設立 R2累計38町内会

地域の方を地域の方が支える地域づくりとして、**地域の交流拠点となる「街かどカフェ」の創設**や、**高齢者の交流と介護予防を推進する「ゆとりすとクラブ・サロン」の開設**など、地域全体がつながり、地域福祉を推進する地域力の向上を目指して取り組んできました。



また、自助・共助・公助の連携による防災・減災体制の確立を目指して、地域コミュニティによる実効ある自主防災組織の育成を推進してきました。

本市においては、自主防災組織の設立に至っていない町内会においても、地域の中で支え合いの意識が育っているため、実質的にはすべての町内会で防災組織としての役割は担っていただいています。



→中学生による防災活動ささえ隊

自主防災組織とは？

「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、自主的に結成する組織であり、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行う組織。